

# 福岡県移住者子弟留学生 第2回報告書（9月）

テーマ

「この夏のこと」

在ボリビア福岡県人会  
緒方 米倉 スサナ 優

中村調理製菓専門学校  
製パン学科

“日本で迎えた夏“

私が福岡に着いた日はまだ寒い日が続いていてきれいな桜の花をみることができました。あれから早いもので半年が過ぎ、楽しみにしていた日本で迎える初めての夏、新型コロナウイルスも落ち着いて、同期の留学生も福岡に着いて一緒に祭りや花火を見に行ったりして夏を過ごしているだろうと勝手に思っていました。相変わらずの新型コロナウイルスで外出を控えて、今まで経験したことがないような暑い夏を過ごしました。

福岡にいる元県費留学生の先輩方に誕生日をダンシングラブで私が大好きなかにを食べながら祝ってもらいました。ボリビアでは食べられないのでとてもうれしかったです。マリノアシティ、キャナルシティやコストコで買い物にも付き合ってもらいました。家族会の方々には食事や、海でのバーベキューに誘っていただきとても楽しくいい思い出ができました。皆さんには本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

私の通っている中村調理製菓専門学校内で新型コロナウイルス感染者がでたため、三週間ほどオンラインで授業を受けました。実習の授業では先生のパンの作り方の説明を聞いてレポートを書いたり、他の科目は同じくレポートや授業のまとめや科目によって宿題をして過ごしました。同じクラスのお友達にも会えなくて、実際にパンを作ったりすることもできなかったのでさびしく感じました。今は学校にも通えるようになって授業も受けられるようになりました。

新型コロナウイルスの影響で夏休みが9月になり、二週間の夏休みになりました。その間に校外実習を受けることになりました。校外実習は実際14日間で一日8時間の予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で7日間になりました。私が住んでいる自協学舎九州寮の近くの家族経営のパン屋さんで1週間修行することになりました。実際にパン職人さんと一緒にお仕事して色々勉強と経験を積みたいと思います。また、中村調理製菓専門学校では留学生との交流会にも参加しました。主に韓国、中国人の留学生が多く、これまであまり触れ合う機会がなかったのでこれからはいろんな国の方と交流を深めてその国の文化や習慣をもっと知りたいと思います。

日本は四季がはっきりわかれていると感じました。夏はボリビアよりも暑く感じ、セミの大きさや泣き声におどろきました。暑い夏にもなれてきた頃、九州に100年に一度の台風が近づくとニュースでながれていて、とてもおどろきました。学校のお友達が台風にならなくて懐中電灯、食糧、水を買っておいたほうが良いよと教えてくれたのですぐ買いに行きました。私にとって台風は初めてだったのでその日は、怖くて全然寝ることができませんでした。私の部屋の窓に強い風と雨が当たって、今にも窓ガラスがわるるのではないかと思い、とてもこわかったです。今回初めて日本で迎えた暑い夏と台風経験は一生忘れたいと思います。日本は自然災害が多い国だとあらためて思いました。